

あいさつ表現の通言語的研究

—定型化と変異—

中西 太郎(跡見学園女子大学)

1. あいさつ研究の課題

従来の対照研究：場面ごとの使用実態の異同、表現の異同など(国立国語研究所, 1984ほか)

今後の研究に求められるもの：「あいさつとは何か」「変化」「待遇的場面差」「定型化」「表現法」「あいさつ談話」

● 日本語のあいさつ表現を事例に

(1) A) あるあいさつ表現があるとき、そのあいさつがどのような相手に用いられるかを記述する。

a) あいさつを待遇の観点から検討し、その待遇上の方略や、個々の表現の待遇的性格、あいさつの表す待遇の内実そのものを明らかにする—すなわち、ミクロな観点で、使用実態の記述からあいさつの待遇法の精査を行う。

b) a) で明らかにした待遇上の方略や、待遇的性格を踏まえ、使用実態の地域差を明らかにする—すなわち、マクロな観点で地理的差異の記述を行う。

B) A) で記述した資料それぞれを活用し、近年のあいさつ表現変化の仕組みを明らかにする。その際、従来の変化「定型化」との関わりを念頭に入れる。(中西, 2011)

2. あいさつの定型性記述の深化・展開に向けて—台湾の食事尋ね表現を事例として—

● 台湾のあいさつ表現を事例に

(2) a. 台湾の「あいさつ」を位置づける一材料となる

b. 多くの言語の「あいさつ」の「あいさつ」らしさの差を精緻化する研究モデルを作る

c. 「あいさつ」らしさのスケールに位置付けることで、「あいさつとは何か」についての考察を深化させる

2.1 日本語あいさつ表現の定型性

(3) 「おはよう。おせいね」(曾野綾子『太郎物語大学編』)

(4) 日本語あいさつ表現の定型判断の基準(中西, 2008)

I. <実質的意味の有無>実質的意味を持たない

II. <形態の固定度>形式が固定的で付加要素が見つからない

III. <場面とことばの結びつき>特定のことばの使用率が高い

2.2 台湾の言語状況と「食事尋ね」のあいさつ表現の位置づけ

2.2.1 台湾の言語状況と台湾華語

● 台湾の主要民族人口比率(黄, 1993, 表1 発表時投影)

● 台湾語の食事尋ね表現「食飽未?」について(中西・林, 2022)

(4) の基準で「準定型」と位置付けられる

(4) の基準で他言語を比較できる

● 台湾華語の食事尋ね表現「吃飽了嗎?」「吃飯了嗎?」など

表2 台湾の言語使用状況(簡, 2011)

高年層	中年層	若年層
EGL・日本語	EGL・北京語	北京語

EGLは台湾語, 北京語は台湾華語を指す

2.2.2 従来の台湾華語の出会いのあいさつ表現の記述

(5) a. 「你好/您好」(nǐ hǎo/nín hǎo)〈あなたは良い(=こんにちは)〉: 「形式」(発音)〈直訳(=対訳)〉

- b. 「早安」(zǎo ān) 〈安らかな朝 (=おはようございます)〉
- c. 「你好嗎？」(nǐ hǎo ma) 〈あなたは良いですか？ (=お元気ですか?)〉
- d. 「大家 好」(Dàjiā hǎo) 〈皆はとても良い (=皆さんこんにちは)〉
- e. 「{吃飽了嗎/吃飽了沒} ?」(Chībǎo le ma/Chībǎo le méi) 〈{お腹一杯食べたか/お腹一杯食べてない} ? (=ご飯を食べたか?)〉 (発表者が簡・高向, 2018; 潘, 2020; 渡邊, 2012 の記述をもとにまとめたもの)

- 食事尋ね表現「吃飽了嗎？」をあいさつに含める・含めないは分かる。
- 台湾南部大学生の使用実態 (劉, 2010, 図2 発表時投影)

2.3 台湾華語のあいさつ表現の定型性の検証

2.3.1 意味的特徴の検討

- (6) a. 「早安. 真是美好的早上。」〈安らかな朝 (=おはよう). とても良い朝ですね。〉
b. 「早安. 真是糟糕的早上。」〈安らかな朝 (=おはよう). 最悪の朝ですね。〉
- (7) a. 「你好. 你看起來很好。」〈あなたは良いです (=こんにちは). お元気そうですね。〉
b. 「你好. 你看起來很累。」〈あなたは良いです (=こんにちは). 疲れているように見えますね。〉
- (8) (話者 A と B が昼, 出会ったとき) A: 「午安。」〈安らかな昼 (=こんにちは).〉
B: 「*謝謝。」〈ありがとう。〉
- (9) (話者 A と B が昼, 出会ったとき) A: 「你好嗎？」〈あなたは良いですか？ (=お元気ですか?)〉
B: 「??我很累。」〈私はとても疲れた。〉
- (10) a. 「吃飽了嗎? 吃了嗎?」〈お腹一杯食べたか? 食べた?〉
b. 「吃飽了嗎? 已經吃了嗎?」〈お腹一杯食べたか? もう食べた?〉
c. (ごはんを食べている人に) 「#吃飽了嗎?」〈お腹一杯食べたか?〉

2.3.2 形態的特徴の検討

- (11) a. 「*早安 了。」〈安らかな朝であった。〉 (12) a. 「*你好 了。」〈あなたは良かった。〉
b. 「*非常 早安。」〈とても安らかな朝。〉 b. 「*你 非常 好。」〈あなたはとても良い。〉
c. 「*早安 啊。」〈安らかな朝だね。〉 c. 「*你好 啊。」〈あなたは良いね。〉
- (13) a. 「*午安 了。」〈安らかな昼であった。〉 (14) a. 「*你好 了 嗎?」〈あなたはよかったですか?〉
b. 「*非常 午安。」〈とても安らかな昼。〉 b. 「*你 非常 好嗎?」〈あなたはとても良いですか?〉
c. 「*午安 啊。」〈安らかな昼だね。〉 c. 「*你好嗎 啊。」〈あなたは良いですかね。〉
- (15) a. 「吃飽 了 嗎?」〈お腹一杯食べたか?〉
b. 「*吃 非常 飽了嗎?」〈とてもお腹一杯食べたか?〉
c. 「*吃飽了嗎 啊?」〈お腹一杯食べたかね?〉

2.3.3 場面的特徴の検討

- アンケート調査 (実施時期: 2021年10月 (台湾) 回答者数: 546名, 発表時詳細投影)

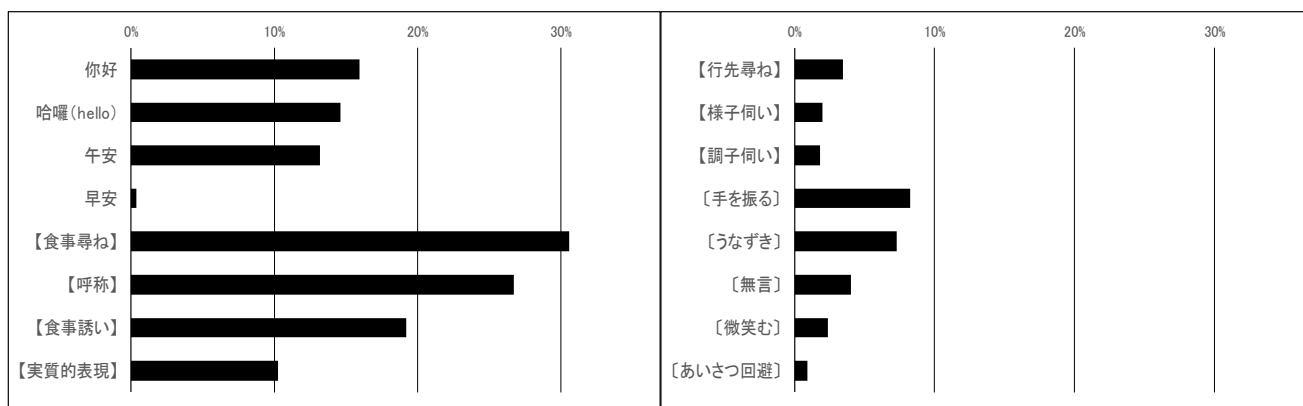


図3 昼, 道端での目上の相手との出会いにおけるあいさつ表現 (【 】は中西 (2015) を参照した意味分類)

表3 定型性から見た台湾華語出合いのあいさつ表現の位置づけ

対象の表現	実質的意味の有無	形態の固定度	場面とことばの結びつき(昼)
早安	○	○	(×)
你好	○	○	(△)
午安	○	○	(△)
【食事尋ね】吃饱了嗎?	△	△	○
【調子伺い】你好嗎?	△	△	×

- 台湾のあいさつ表現について「定型性の段階がある」「日本語の定型性の判断基準が適用できる」
- 場面差, 世代差, 地域差, 都市構造差の検討 (図4, 5, 6 発表時投影)

3. あいさつ表現の通言語的研究に向けて

3.1 既存の記述の補完とあいさつ表現の位置づけの再検討

- 日本語の地域方言にも見られる食事尋ね表現

(16) 昼, 道端で友人にあったときにどのようなやりとりを行うか: 多賀城市

001A: 「オヒル タベタノスカワ。」 (お昼[は] お昼 [は] 食べたのですか。)

002B: 「クッタッチャー. イマカラ ナーニスルノ。」 (食べたよ. 今から 何するの。)

003A: 「ウン, ハタケサイクンダヨー, オラー. ヤオヤトリダー。」 (うん, 畑へ行くんだよ, 私. 野菜採りだ。)

(東北大学方言研究センター, 2013, 発表者が表記を調整)

(17) 2017年 気仙沼市方言調査 60代女性 朝, 最も目上の相手に道端で会ったとき

「オヒル タベタノー, オヒル オワッタノー」

2014年 塩釜市方言調査 60代男性 朝, {最も目上/やや目上}の相手に道端で会ったとき

「メス クッタノスカワ」

- 諸方言のあいさつ表現記述の充実と「あいさつ」の再考

3.2 あいさつ表現の通言語的研究の課題

(18) あいさつの形成について

- 他言語のあいさつの定型性
- 定型化の変化の言語普遍性
- 変化を促進する条件
- 定型化 (非定型から定型へ) 以外の変化の方向性の有無

- 「待遇的側面目当ての変化」(中西, 2011)

(19) あいさつの表現法について

表現法のバリエーション, 分布, バリエーションの背景

- 梶・中島・林 (2006) と石井・千野 (2004) を資料にして地図化 (図7)

調子伺い (図8, 発表時地図投影) > 食事尋ね > 朝の早さの賞賛 (図9, 発表時地図投影)

(20) A) 定型性の基準によるあいさつらしさの差の記述を視野に入れた使用実態の解明

B) あいさつらしさがなぜ, どのように獲得されるかの解明

C) あいさつの機能と変化の総合的説明

- 社会言語学的研究, 言語行動学的研究, 談話論的研究, 通時的研究, 動物行動学的研究, 多角的な検討
- 背景 (「言語的発想法」小林・澤村, 2014などの理論) も含めた検討

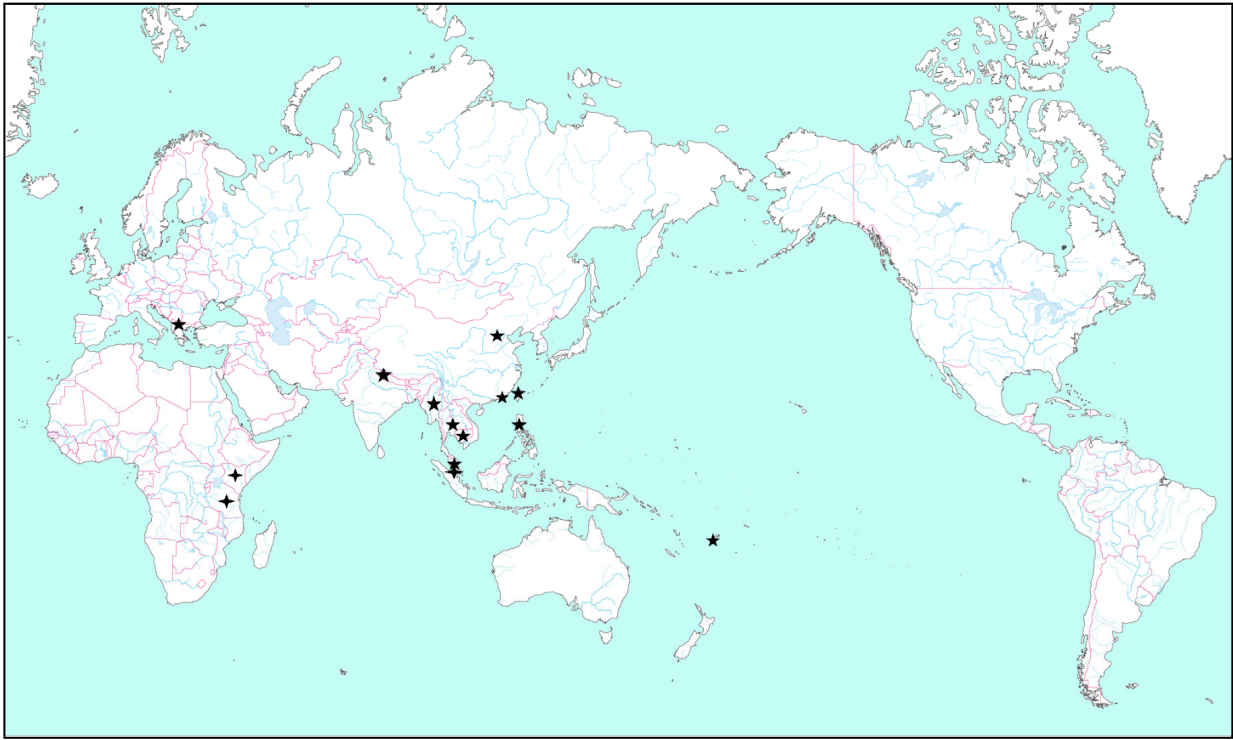


図7. 食事尋ね表現の分布図

謝辞 本研究はJSPS 課題番号 20K00649, 22H00664 の成果である。また、本稿の執筆にあたり林青樺氏の助言を得た。ここに記して謝意を示す。

参考文献

- 石井米雄・千野栄一編 (2004). 世界のことば 出会いの表現辞典 三省堂
- 梶茂樹・中島由美・林徹編 (2006). 事典世界のことば141 大修館書店
- 簡希蓁・高向敦子 (2018). 旅する台湾華語 IBC パブリッシング
- 簡月真 (2011). 台湾に渡った日本語の現在—リンガフランカとしての姿— 明治書院
- 黄宣範 (1993). 語言・社會與族群意識—台湾語言社會学的研究— 文鶴出版有限公司
- 国立国語研究所 (1984). 言語行動における日独比較 三省堂
- 小林隆・澤村美幸 (2014). ものの言いかた西東 岩波新書
- 小林祐子 (1981). 日本人とアメリカ人の挨拶行動—出会いの挨拶— 東京女子大学附属比較文化研究所紀要, **42**, 87-110.
- 杉戸清樹 (1981). あいさつの言葉と身振り 文化庁(編)「ことば」シリーズ14 あいさつと言葉 大蔵省印刷局 pp.47-59.
- 滝浦真人 (2013). 日本語は親しさを伝えられるか 岩波書店
- 東北大学方言研究センター (2013). 伝える, 励ます, 学ぶ, 被災地方言会話集 東北大学国語学研究室
- 内藤敬子 (2001). あいさつとしての「叫人」発話について アジアの歴史と文化, **5**, 45-64.
- 中西太郎 (2008). あいさつ言葉の定型化をめぐる—「おはよう」を事例とした定型化の検証 国語学研究, **47**, 82-96.
- 中西太郎 (2011). 待遇的観点から見た日本語あいさつ表現の研究 東北大学大学院文学研究科博士学位論文
- 中西太郎 (2015). 言語行動の地理的・社会的研究—言語行動学的研究としてのあいさつ表現研究を例として 方言の研究, **1**, 77-102.
- 中西太郎・林青樺 (2022). あいさつ表現の言語類型論に向けて—日台あいさつ表現の比較を通して— 友定賢治(編) 感動詞研究の展開 ひつじ書房 pp.307-326.
- 長谷川頼子 (2001). 出会いの場面にみられるあいさつ語と実質的表現 筑波応用言語学研究, **8**, 71-84.
- 潘凱翔 (2020). 3パターンで決める日常台湾華語会話ネイティブ表現 語研
- 劉静慧 (2010). 出会いのあいさつ言語行動の対照研究—日本と台湾における大学生の使用実態の調査からの分析 東アジア日本語教育・日本文化研究, **13**, 173-191.
- 渡邊豊沢監修 (2012). バッチリ話せる台湾華語 三修社